

令和6年度各会計決算
に対する各会派等の

意見表（要旨）

公明党

令和6年度一般会計、3特別会計決算の認定に賛成。以下は、主な意見と要望。

●国土強靱化地域計画は全庁を挙げて早期改定を●すずらんネット会議の充実を●防災協定未締結の分野との締結を●選挙当日の投票が区内全ての投票所のできるよう検討を●区公式LINEにアプリを集約し必要な情報へアクセスしやすい仕組み構築を●宿泊型産後ケアの利用日数の拡充を●重度障がい児の施設整備を●手話通訳者養成や派遣の拡充を●食品ロス削減は、区民参加型削減レシピコンテストの開催を●マイボトル給水機のイベント会場への設置を●自転車駐車場の効率的な活用や第一種原動機付自転車用の整備を●新たな屋内スポーツ施設の整備を●小1の壁対策は実態に即した制度運用を●現在休止となつてゐる小学4年生の移動教室の再開検討を●子どもを性暴力から守る体制の整備を

都民ファーストの会・国民

令和6年度一般会計・3特別会計決算の認定に賛成。多様化する区民ニーズに迅速に対応する積極性がうかがえた決算と評価する。以下提案と要望。区の情報・魅力の効果的な発信を。地域防災力の一層の向上を。コミュニティ助成事業の申請サポートと町会活動デジタル化の有効な施策の実施を。盤石な体制で住宅宿泊事業の条例改正を。豊島区民社会福祉協議会の運営面に一層の配慮を。路上喫煙、ポイ捨て防止施策の客観的な評価・分析を。緑化推進事業の継続を。環境交流ツアーの安全確保の徹底を。サクラノbizのブラッシュアップを。教員側の活用促進を図り、子どもたちに有益なICT活用を。スピード感を持った部活動の地域展開を。学用品等のリユース制度の拡大を。介護人材確保に向けた多角的な取組を。

財政の健全性には十分留意し、持続可能な財政運営を望む。

自民党豊島区議団

令和6年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成。一般会計は11次に及ぶ補正予算を編成し様々な区民の声に寄り添った施策を展開している。款別に会派としての思いを述べる。社会状況の変化に応じた入札制度改正を。がん対策や健康診断の受診勧奨で、疾病予防に注力を。町会の抱える諸問題に解決策提示を。主要駅を含め喫煙所設置の取組推進を。各地で実施される再開発について、地域の発展を目指して適切な計画推進を。デザインマンホールの設置で回遊性の促進を。仮保健所跡地の活用によるアーバンスポーツの推進を。入管と連携した在留資格の見直し等により外国人の税等収納率向上を。在宅医療24時間体制等に関する情報発信強化を。

総じて、財政の健全性を堅持することができた決算であった。今後も行政の手腕を発揮し、本区の大いなる発展を目指してほしい。

維新・無所属

令和6年度一般会計及び3特別会計決算の認定に賛成。以下、個別意見と要望。

区有・民間施設の災害時等でのエレベーター閉じ込め対策を早急に進め、防災キャビネット設置を。民泊条例の改正では、違反者には厳格に、適正運営には配慮を求める。イケバスは費用対効果を踏まえ、車両台数の適正化など持続可能な運行体制を。産後ケア事業は宿泊日数の拡充や利用者負担の軽減等より利用しやすい制度設計を。東通りは歩行者の安全確保と賑わいの両立を図る無電柱化を含む早期整備を。重さが指摘されている学習タレットについて児童の負担軽減策を早急に講じること。児童相談所の人材・組織両面への支援強化を。国民健康保険の外国人被保険者への丁寧な指導と滞納整理の毅然とした対応の堅持を。

費用対効果を検証し必要な支援を確実に届ける区政運営を望む。

日本共産党

2024年度一般会計決算並びに3特別会計決算の認定に次の理由で反対する。

第一に物価高騰や社会保障の改悪等で苦しむ区民生活を支えるものとなっていない。困難を抱える世帯等にエアカン設置助成の対象拡大を。障害者の日常生活用具、タクシー券の増額を。小中学校のタブレットは全児童・教職員に配布が必要。地震発生直後、区の屋内施設等の開放準備を。保育士の配置基準の改善をすべき。バイク駐輪場の整備が必要。公営住宅・家賃補助が不十分。子どもの見守りをする公園指導員の配置を。

第二に区民にとって不要不急な事業を進めている。南池袋二丁目C地区に莫大な税金を投入し、デベロッパの利益を後押ししている。イケバスの運行は直ちに廃止しコミュニティバスにすべき。保険料が高く、負担が大きい3特別会計も認められない。

立憲・れいわ

審査に当たっては、適切な財政運営か、適切に事業が行われているか、区民の生活に寄り添った決算かという観点で臨んだ。

事業ごとに要望を述べる。すずらんスマイルプロジェクトは対象年齢を超えて支援が続く仕組みの強化を。医療的ケア児（者）支援及び在宅レスパイト・就労支援事業は、より利用しやすいものを。空き家活用事業は、母子シェアハウスなど今後も柔軟で実践的な活用の推進を。区立幼稚園は、持続可能な運営の方向性の明示を。フールドバンク事業を入口に、就労・住宅・生活支援へつなぐ包括的な支援体制強化を。

区民生活の安定と地域社会の維持に努めた点を評価。一方、生きづらさを抱える人々への支援が届きにくい現状が見られる。現場と理論の両面からの区政運営を期待し、令和6年度一般会計並びに3特別会計決算の認定に賛成。

無所属元気の会

創出された新たなにぎわいから新たな歳入を築き、区民サービスをより向上させていくような決算となつていくかという観点から審査に臨んだ。

款別審査では、自転車運転の罰則強化の周知徹底、高齢者の地域参加・孤立防止のため健康マージャン等で区長杯の開催推進、来街者が多い駅周辺等に公衆喫煙所の設置、家庭で集中して自習できない中学生の自習環境整備、池袋西口公園の平日活用、区HPのイベントカレンダーを区民が見て参加したいと思えるように改良、京都市で実施予定の非居住戸利用促進税のような空き家抑制税導入、外国人留学生在が防災面や町会等地域の担い手になる先導を提言した。区民に寄り添った多くの施策がしっかり区民に届くよう広報し、次年度の新たな施策につなげることを期待し、令和6年度一般会計決算及び3特別会計決算認定に賛成する。

立憲民主

令和6年度一般会計及び3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成。歳入面では、ふるさと納税による流出抑制の取組が重要。歳出面では、文化を基軸としたまちづくりと人づくりを大切にする区政の推進を求める。

以下、款別に要望する。職員自らキャリアアップを主体的に描ける環境整備を。多様な性を尊重する文化を地域全体で育む取組を。障害のある子どもと保護者が安心できる環境整備を。安心して老後を暮らせる地域包括ケア推進を。地域住民と共創で新たな小規模公園活用モデルを。路上喫煙・ポイ捨て防止では、地域ぐるみの環境啓発を。合理的配慮を要する児童が安心して学べる支援体制整備を。若手芸術家育成施策を。いずれの施策も文化を基軸としたまちづくりと、誰一人取り残さない包摂社会の理念により推進することを強く期待する。